



本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導内容・指導法の工夫	校内における研究・研修の工夫	評価方法の工夫	家庭や地域との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>週3回15分間のモジュール学習を設定し、読書指導や算数・国語の基礎基本の定着を図る。</li> <li>特色ある教育活動の充実を図る。 [持久走大会・よみママ]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間指導計画・評価規準を見直し、授業における指導と評価の一体化を図る。</li> <li>3年～6年の算数科において少人数指導を実施し、個に応じた指導をする。</li> <li>各教科で話す・聞く力を伸ばす指導法を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究主題「自分の思いや考えを伝えられる児童の育成」～国語科における言語活動をととして～</li> <li>公開研究授業[年間3回]や事前授業の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1時間での評価規準を1項目に絞る。</li> <li>国語・算数科では観点毎に適切な評価をする。</li> <li>児童の学習意欲の向上を図るために、自己評価や相互評価を積極的に取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校公開日を学期1回設定し、保護者や地域住民に公開する。</li> <li>道徳授業地区公開講座を実施する。〔2月〕</li> <li>地域、PTAと共催でもちつき大会を実施し、相互の交流を図る。</li> </ul>